

女性農業者の社会参画推進による地域農業の活性化

1 対象

愛知県農村生活アドバイザー協会尾張支部（35 名）

内訳 愛知県農村生活アドバイザー協会尾張支部尾張東分会（17 名）

愛知県農村生活アドバイザー協会尾張支部尾張西分会（18 名）

2 背景

愛知県農村生活アドバイザーは多くの市町で農業委員や農協理事など方針決定の場へ登用されるようになってきた。方針決定の場へ女性が参画するためには、自分の意見を公の場で発言できる女性農業者の育成が必要である。農業者の約半数を占める女性が、自分の経験をもとにした意見を地域（市町、JA）の政策や事業に反映させることで、女性の働き方改革、方針決定の場での能力発揮、農業経営での活躍につなげることができる。

3 活動の内容

- (1) 市町、農業協同組合の方針決定の場への女性農業者登用の働きかけ
 - ・「尾張農業改良普及推進会議」で、農業委員、農協理事への登用促進を働きかけた。
 - ・「女性農業委員等情報交換会」を2地区で開催し、市町担当者や委員に登用促進を呼びかけた。
- (2) 女性農業者の能力向上、視野拡大のための研修会の開催
 - 名古屋市農業の視察（田んぼアート・なごやか農楽会・農福連携）
 - 防災研修会（名古屋港防災センター）
 - ワーク・ライフ・バランス研修
 - 税務研修会
 - 土壌研修会
 - 有機農業研修会
- (3) 農政への提言のための懇談会の開催
 - 愛知西農業協同組合との農業懇談会（10 月）
 - 小牧市長との農政懇談会（11 月）

4 活動の成果

- ・女性農業者の能力向上、視野拡大につながる研修会を6回開催した。
- ・推進会議や研修会の開催を通し、女性農業者の社会参画を啓発できた。
- ・女性農業委員等情報交換会では、委員活動の情報交換と農政の学びの場を設けることができた。
- ・新たに1名が方針決定の場に登用され、累計49名が方針決定の場に登用された。
- ・新たに3名を愛知県農村生活アドバイザーに認定できた。



図1 JA愛知西との農業懇談会



図2 小牧市長との農政懇談会



図3 ワーク・ライフ・バランス研修